

スローガン

“今こそ結束 One JCMA”

2022年度に策定したJCMA中期計画（2022-2026）も踏まえ、以下4つの柱からなる活動方針は継続しつつ、今年度の新規追加と特に強化する施策を設定する。

1. MICE業界認知度向上

強化 政策提言	強化 横軸連携
新規 人材育成・ 人材確保	強化 メディア リレーション

2. 委員会活動・プロジェクト活動の充実

強化 10周年事業 プロジェクト	新規 自主事業検 討プロジェクト
委員会連携	委員増強

3. リアル交流の復活/強化

強化 海外MOU 団体交流	強化 会員増強
最新テクノ ロジー活用の 委員会催事	会員交流

4. 次世代育成と継承

強化 次世代人材 支援体制	自主的な取 り組み支援
若手抜擢	役員のコミット

MICEが本格復活に向かう今、協会活動にも優先度をつけて集中的に取り組みを進める。

活動方針の詳細

1. 「MICE業界認知度向上」

- ① **【強化】** 政府・自治体等へのMICE振興に資する政策実現の働きかけ
- ② **【強化】** MICE関連団体との横軸連携による発信力増大
- ③ **【新規】** 人材育成と人材募集のための活動(展示会等活用)
- ④ **【強化】** メディアリレーション強化と情報発信力の向上

2. 「委員会活動・プロジェクト活動の充実」

- ① **【強化】** 協会10周年事業のプロジェクトチーム発足
- ② **【新規】** 自主事業検討のプロジェクトチーム発足
- ③ 委員会間連携による事業・催事の充実(規模・予算の効率活用)
- ④ 委員構成の増強(次世代若手人材の育成)

3. 「リアル交流の復活/強化」

- ① **【強化】** 関連国際団体との交流
- ② **【強化】** 多様な会員(見込み会員含む)の協会活動への参画促進
- ③ 最新テクノロジー等を活用したリアル交流の強化
- ④ 会員交流の強化(サマーセミナー、委員会総会の実施)

4. 「次世代育成と継承」

- ① **【強化】** 協会としての次世代育成と継承へのコミットメント

JCMA2024年度活動方針

活動方針の詳細

1. 「MICE業界認知度向上」

- ① **【強化】 政府・自治体等へのMICE振興に資する政策実現の働きかけ**
 - ・ 観光庁をはじめとした中央省庁、経済界、メディア等への政策提言
 - ・ 自治体等によるMICE関連施策検討ための協議会、有識者会議、専門部会等の場における発言機会を最大限活用する。
 - ・ 上記機会を活用した規制緩和や補助金等の助成制度の拡充実現に取り組む。
- ② **【強化】 MICE関連団体との横軸連携による発信力増大**
 - ・ 日展協、JACE、MPI等関連団体との共同企画の実施や連名によるプレスリリースなど発信力増大を目指す(観光庁に加え、経済産業省をはじめとした他省庁へも訴求する)。
 - ・ 上記団体と連携した人材獲得のためのセミナーや人材育成のための新人向け研修機会の提供などJCMA単独実施より高い効果が期待できる活動を検討する。また、MICE関連団体の会員も参加できるJCMA委員会催事を設定し、業界内の幅広い交流機会提供を通じ横軸連携を強化する。
 - ・ 海外MOU団体との情報共有・交流を通じ、MICEテクノロジーやサステナビリティ、MICEレガシー効果等のグローバルのトレンド把握とその発信。
 - ・ 大阪・関西万博開催に向けた関係諸団体との連携強化によるMICE認知拡大の促進。
- ③ **【新規】 人材育成と人材募集のための活動**
 - ・ MICE業界に関心ある学生、就活生、求職者への情報提供を強化する。
 - ・ 大学等での寄附講座、キャリアセミナー(前期実施済)の機会獲得に向け活動する。
- ④ **【強化】 メディアリレーション強化と情報発信力の向上**
 - ・ 業界紙のみならず一般メディアを含め情報発信を強化する。一般メディア向けを意識した広報ツールを活用しMICE業界の特集や番組化を狙った活動を展開する。
 - ・ 前期、新規に立ち上げたJCMA公式「X」や「YouTube」を活用し、情報発信方法の多面化や 掲載コンテンツの充実を図る。
 - ・ 委員会活動等における動画素材収集に努め、発信コンテンツには映像を活用するなど、学生をはじめとした多様なユーザーを想定したコンテンツ拡充を促進する。

活動方針の詳細

2. 「委員会活動・プロジェクト活動の充実」

① 【強化】 協会10周年事業のプロジェクトチーム発足

- ・ 2025年6月に大阪で初めて社員総会を開催するに際し、プロジェクトチームを発足する。
- ・ 大阪社員総会に向けた準備組織としての「JCMA関西部会」を立ち上げる。

② 【新規】 自主事業検討のプロジェクトチーム発足

- ・ 毎年12月(予定)に自主事業開催を念頭に検討のためのプロジェクトチームを立ち上げる。
- ・ 上記事業ではJCMAによるアワード等、会員等の取り組みを讃える仕掛けを検討する。

③ 委員会間連携による事業・催事の充実(規模・予算の効率活用)

- ・ 委員会間での企画連携により、催事等の質的向上、参加人数の増加、予算執行の効率化を図る。また、単独委員会に閉じない委員の関係性構築を目指すとともに、総合的にみた各委員会の負担軽減を図る。
- ・ 催事実施に付随する参加者交流会の実施、企画に応じたプレスリリースなど委員会活動の実施インパクト増大を図る。

④ 委員構成の増強(次世代若手人材の育成)

- ・ 委員会内での次世代人材(若手メンバー)の副委員長等への登用検討。
- ・ JCMA催事等での若手人材の積極的な登用(登壇や司会等の役割)。
- ・ 委員会に未参画の会員企業への参画依頼、促進。

JCMA2024年度活動方針

活動方針の詳細

3. 「リアル交流の復活/強化」

① 【強化】 関連国際団体との交流強化

- ・ 前期に訪問した韓国MICE協会(KMA)、意見交換会を実施した台湾等、活躍目覚ましい海外MICE関連団体との交流を更に強化する。
- ・ 現在MOUを締結済みの韓国、マレーシア、シンガポール、台湾以外にも新規MOU締結の候補対象国を検討する。

② 【強化】 多様な会員の協会活動への参画促進

- ・ 新規入会検討企業に対する催事へのお試し参加を通じた機会提供、会員獲得活動の促進。
- ・ 各地のコンベンションビューロー等との連携を通じた地方会員の増強に努める。
- ・ 催事を活用した積極的な会員勧誘活動を展開する。

③ 最新テクノロジー等を活用したリアル交流の強化

- ・ リアル交流の場での最新テクノロジー導入・紹介など特に次世代、若手が興味をもち参加しやすいコンテンツを充実させる。
- ・ 参加者同士の交流がより促進される参加型アクティビティー等の活用を図る。

④ 会員交流の強化(サマーセミナー、委員会総会の実施)

- ・ 参加者数過去最多となった前期に引き続き、全会員向けにサマーセミナーを実施する。
- ・ 各委員会で活動する全委員を対象とする委員会総会・交流会(新設)の実施を検討。
- ・ 会員交流が促進されることによる、会員間ビジネスマッチングの機会の提供。

4. 「次世代育成と継承」

① 【強化】 協会としての次世代育成と継承へのコミットメント

- ・ 次世代人材の自主的な取り組みを促し、それを支援する。
- ・ 委員会活動、協会催事などで積極的に若手メンバーに巻き込みあるいは抜擢し、ベテラン陣はそれを支えることで次世代育成と継承に取り組む。